



注)このリリースは、Medtronic plcが現地時間2017年4月18日に発表したプレスリリースを日本の報道機関向けに翻訳したものです。英文プレスリリースは、[こちら](#)をご参照ください。なお、本資料の正式言語は英語であり、その内容・解釈については英文プレスリリースが優先します。

報道関係各位

2017年4月18日

### メドトロニック PATIENT MONITORING & RECOVERY事業の一部を カーディナルヘルス社に61億ドルで売却する最終契約に調印

2017年4月18日 - 本日Medtronic plc は、Cardinal Health Inc.との間で、MedtronicのMinimally Invasive Therapies Group (MITG)に属するPATIENT MONITORING & RECOVERY (PMR)のPatient Care、Deep Vein Thrombosis (DVT)、Nutritional Insufficiency (NI)事業を売却する最終契約を締結したと発表しました。この売却は法的な承認およびその他の売却完了条件が満たされることを前提として、Medtronicの2018会計年度第2四半期中の完了を予定しています。オハイオ州ダブリンに本社を置くCardinal Healthは、グローバルかつ統合されたヘルスケアサービスおよび製品を提供する企業として、世界中の医療機関、医療システム、および臨床関連機関にカスタマイズされたソリューションを提供しています。

この売却の完了に伴い、Medtronicの前年度と比較可能で為替の影響を排除した売上高成長率、ならびに非GAAPベースの営業利益率には、それぞれ約50ベースポイントの押し上げ効果が直ちに生じる見込みです。

この最終契約の条件に基づきMedtronicは61億ドルの現金(ただし一定の調整が加えられる可能性あり)を受け取り、税引後の収入総額は約55億ドルと推定されています。Medtronicはこの税引後収入のうち10億ドルを2018会計年度の自社株の買戻しの追加資金として使用し、残りは債務の削減に充当する計画です。この収入配分はMedtronicの短期的資本配分戦略に沿ったものであり、同社の負債レバレッジ比を改善すると共に、より大きな成長と利益率が見込める分野への今後の投資を可能にします。メドトロニック社は、株主への還元と事業への再投資の間でバランスの取れた資本配分方針を引き続き維持します。

「これはすべての関係者、すなわちMedtronic、Cardinal Health、およびそれぞれの株主と従業員のすべてにプラスとなる取引であり、この経営母体の変更により関係者全員にさらなる繁栄がもたらされると確信しています。これはまたMedtronicによる、統制の取れたポートフォリオマネジメントに取り組む姿勢を示したものであります」と、Medtronicの会長兼最高経営責任者であるOmar Ishrakは述べています。

「Medtronicは過去数年にわたり、世界中の医療システムと患者様に臨床と医療経済面での大きな価値をもたらすことに特に注力してきました。私たちは、最終的にこれらの製品群、これらを必要とする患者様にとって、真に価値のあるものが、その事業に投資し、集中して取り組んでゆく経営陣にリードいただくことが

最善であるとの結論に達しました。また同時にMedtronicは長期的な観点からより高利益を生み出す、新しい治療法、グローバル化、および経済価値というMedtronicの戦略により直接的に則する社内外の投資機会にこの売却による収入を使うことができます」

この取引に伴い、Medtronicの2018会計年度のnon-GAAPベースの1株あたり利益は、約0.12から0.18ドルの範囲の希薄化がネットベースで生じると予想されます。この正確な金額は売却取引が完了する時期によって決まります。

売却が予定されている事業は、過去4四半期を通じて合計約24億ドルの売上を計上していました。この取引にはMedtronicの歯科/動物用医療機器、医療用チャート紙、創傷ケア、尿失禁製品、心電図電極、針棄てボックス/ニードル&シリンジ関連製品、体温計、周産期関連製品、血液採取、DVT予防空気式圧迫装置/ストッキングおよび経腸栄養製品、中心静脈カテーテルなどが含まれます。またこれらを専門に製造する17の製造施設も含まれます。エアウェイマネジメント、ベンチレータ、患者モニタリング、センサー、Health Informatics製品を含むRespiratory & Monitoring Solutionsビジネス、ならびにRenal Care SolutionsビジネスはいずれもPMR Divisionに属していますが、これらは引き続きMedtronicとしてビジネスを継続します。

「この経営母体の変更により、私たちのグループはグローバルな戦略的優先事項を達成することに貢献する製品ポートフォリオにさらに集中することができます」と、MedtronicのExecutive Vice PresidentでありMedtronic's Minimally Invasive Therapies GroupのPresidentであるBryan Hansonは述べています。「私たちの社員およびこれらの事業の双方が、Cardinal Healthに移ることによって、さらに発展できると確信しています。これまでの社員の数え切れないほどの貢献、ならびにお客様と患者様との間のパートナーシップそして忠誠に心から感謝しています」

本件に関するMedtronicのfinancial advisorはPiper Jaffray およびJ.P. Morgan Securities LLCが務めます。また、legal advisorsはWachtell, Lipton, Rosen & Katz and Baker McKenzieが務めます。